

137
1195

別13
59
13

文化七
庚午
曆

水谷茂兵衛氏寄贈本



江戸曆開板所

鑑 屋 兵 吉

文化七年のえむま乃寛政曆 値心宿 凡三百五十五

大さのむまの方 は方むひて方よ
他本とことす

大さのえうの方 ひつひつあて
三年あてうり

大おんらの方 は方むひて
さんとさす

ちよあまの方 とら

まのりの方 とら



金神

まのけいむまの方 むひて
とら

まのたねの方 むひて
とら

まのせむじの方 は方よ
とら

まのえいぬの方 むひて
とら

まのひらの方 むひて
とら



土公 春は夏へくと
秋は井冬へくと

正月小 二月大 三月小

四月大 五月大 六月小

七月大 八月大 九月小

十月大 十一月小 十二月大

正月小 建戌寅室宿值月 虚宿日曜值朔

一日ひのえいぬの方 吉書始
射也

二日ひのえいぬの方 あまのひ
あまのひ

三日ひのえいぬの方 火ま日
火ま日

四日ひのえいぬの方 火ま日
火ま日

五日ひのえいぬの方 水ま日
水ま日

六日ひのえいぬの方 木ま日
木ま日

七日ひのえいぬの方 金ま日
金ま日

八日ひのえいぬの方 土ま日
土ま日

九日ひのえいぬの方 火ま日
火ま日

十日ひのえいぬの方 水ま日
水ま日

十一日ひのえいぬの方 木ま日
木ま日

十二日ひのえいぬの方 金ま日
金ま日



五	のひひ	火	神は太まきちちく日あつのん焼火
六	のひひ	水	大まきちちく日
七	のひひ	木	神は太まきちちく日あつのん焼火
八	のひひ	金	八せんのおんり
九	のひひ	土	く多日ちちく
十	のひひ	火	く多日ちちく
十一	のひひ	金	く多日ちちく
十二	のひひ	土	く多日ちちく
十三	のひひ	木	く多日ちちく
十四	のひひ	火	く多日ちちく
十五	のひひ	金	く多日ちちく
十六	のひひ	土	く多日ちちく
十七	のひひ	木	く多日ちちく
十八	のひひ	火	く多日ちちく
十九	のひひ	金	く多日ちちく
二十	のひひ	土	く多日ちちく
廿一	のひひ	木	く多日ちちく
廿二	のひひ	火	く多日ちちく
廿三	のひひ	金	く多日ちちく
廿四	のひひ	土	く多日ちちく
廿五	のひひ	木	く多日ちちく
廿六	のひひ	火	く多日ちちく
廿七	のひひ	金	く多日ちちく
廿八	のひひ	土	く多日ちちく
廿九	のひひ	木	く多日ちちく
三十	のひひ	火	く多日ちちく
三十一	のひひ	金	く多日ちちく
三十二	のひひ	土	く多日ちちく
三十三	のひひ	木	く多日ちちく
三十四	のひひ	火	く多日ちちく
三十五	のひひ	金	く多日ちちく
三十六	のひひ	土	く多日ちちく
三十七	のひひ	木	く多日ちちく
三十八	のひひ	火	く多日ちちく
三十九	のひひ	金	く多日ちちく
四十	のひひ	土	く多日ちちく
四十一	のひひ	木	く多日ちちく
四十二	のひひ	火	く多日ちちく
四十三	のひひ	金	く多日ちちく
四十四	のひひ	土	く多日ちちく
四十五	のひひ	木	く多日ちちく
四十六	のひひ	火	く多日ちちく
四十七	のひひ	金	く多日ちちく
四十八	のひひ	土	く多日ちちく
四十九	のひひ	木	く多日ちちく
五十	のひひ	火	く多日ちちく
五十一	のひひ	金	く多日ちちく
五十二	のひひ	土	く多日ちちく

四月大 建辛巳 婁宿 奎木ノ

一	のひひ	火	く多日ちちく
二	のひひ	水	く多日ちちく
三	のひひ	木	く多日ちちく
四	のひひ	金	く多日ちちく
五	のひひ	土	く多日ちちく
六	のひひ	火	く多日ちちく
七	のひひ	金	く多日ちちく
八	のひひ	土	く多日ちちく
九	のひひ	木	く多日ちちく
十	のひひ	火	く多日ちちく
十一	のひひ	金	く多日ちちく
十二	のひひ	土	く多日ちちく
十三	のひひ	木	く多日ちちく
十四	のひひ	火	く多日ちちく
十五	のひひ	金	く多日ちちく
十六	のひひ	土	く多日ちちく
十七	のひひ	木	く多日ちちく
十八	のひひ	火	く多日ちちく
十九	のひひ	金	く多日ちちく
二十	のひひ	土	く多日ちちく
廿一	のひひ	木	く多日ちちく
廿二	のひひ	火	く多日ちちく
廿三	のひひ	金	く多日ちちく
廿四	のひひ	土	く多日ちちく
廿五	のひひ	木	く多日ちちく
廿六	のひひ	火	く多日ちちく
廿七	のひひ	金	く多日ちちく
廿八	のひひ	土	く多日ちちく
廿九	のひひ	木	く多日ちちく
三十	のひひ	火	く多日ちちく
三十一	のひひ	金	く多日ちちく
三十二	のひひ	土	く多日ちちく
三十三	のひひ	木	く多日ちちく
三十四	のひひ	火	く多日ちちく
三十五	のひひ	金	く多日ちちく
三十六	のひひ	土	く多日ちちく
三十七	のひひ	木	く多日ちちく
三十八	のひひ	火	く多日ちちく
三十九	のひひ	金	く多日ちちく
四十	のひひ	土	く多日ちちく
四十一	のひひ	木	く多日ちちく
四十二	のひひ	火	く多日ちちく
四十三	のひひ	金	く多日ちちく
四十四	のひひ	土	く多日ちちく
四十五	のひひ	木	く多日ちちく
四十六	のひひ	火	く多日ちちく
四十七	のひひ	金	く多日ちちく
四十八	のひひ	土	く多日ちちく
四十九	のひひ	木	く多日ちちく
五十	のひひ	火	く多日ちちく
五十一	のひひ	金	く多日ちちく
五十二	のひひ	土	く多日ちちく

小満四月中の七刻日の出の目金



廿九	火	のひびく	火	天	大まやう天あん月とく日とく
廿八	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
廿七	水	のひびく	水	●	大まやう天あん月とく日とく
廿六	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
廿五	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
廿四	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
廿三	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
廿二	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
廿一	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
廿	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
十九	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
十八	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
十七	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
十六	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
十五	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
十四	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
十三	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
十二	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
十一	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
十	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
九	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
八	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
七	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
六	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
五	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
四	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
三	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
二	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
一	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく

五月大 建 壬午 胃宿 胃土のう

夏至五月中の初刻日の出る日金 暁四十九刻餘なる夜 暁六十五刻餘なる夜 暁二十四刻餘なる夜

六月小 建 癸未 昴宿 畢月のう

廿九	火	のひびく	火	天	大まやう天あん月とく日とく
廿八	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
廿七	水	のひびく	水	●	大まやう天あん月とく日とく
廿六	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
廿五	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
廿四	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
廿三	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
廿二	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
廿一	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
廿	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
十九	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
十八	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
十七	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
十六	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
十五	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
十四	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
十三	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
十二	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
十一	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
十	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
九	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
八	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
七	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
六	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
五	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく
四	金	のひびく	金	●	大まやう天あん月とく日とく
三	木	のひびく	木	●	大まやう天あん月とく日とく
二	火	のひびく	火	●	大まやう天あん月とく日とく
一	土	のひびく	土	●	大まやう天あん月とく日とく

小暑六月廿二日 暁刻日の出る日金 暁四十九刻餘なる夜 暁六十五刻餘なる夜 暁二十四刻餘なる夜



廿九	火	のい	ちり日田く
廿八	土	のい	月とく
廿七	金	のう	登四半余 夜五半余
廿六	土	のう	登四半余 夜五半余
廿五	金	のう	登四半余 夜五半余
廿四	土	のう	天おん母倉月とく
廿三	火	のう	大まやう天おん
廿二	土	のう	大まやう天おん
廿一	金	のう	天おん大まやう
廿	土	のう	天おん大まやう
十九	火	のう	天おん大まやう
十八	土	のう	天おん大まやう
十七	金	のう	天おん大まやう
十六	土	のう	天おん大まやう
十五	火	のう	天おん大まやう
十四	土	のう	天おん大まやう
十三	金	のう	天おん大まやう
十二	土	のう	天おん大まやう
十一	火	のう	天おん大まやう
十	土	のう	天おん大まやう
九	金	のう	天おん大まやう
八	土	のう	天おん大まやう
七	火	のう	天おん大まやう
六	土	のう	天おん大まやう
五	金	のう	天おん大まやう
四	土	のう	天おん大まやう
三	火	のう	天おん大まやう
二	土	のう	天おん大まやう
一	金	のう	天おん大まやう

十月大 建丁亥 井宿 星日

立冬十月廿二日の五刻日の出も日金也

廿九 火 ちり日田く
 廿八 土 月とく
 廿七 金 登四半余 夜五半余
 廿六 土 登四半余 夜五半余
 廿五 金 登四半余 夜五半余
 廿四 土 天おん母倉月とく
 廿三 火 大まやう天おん
 廿二 土 大まやう天おん
 廿一 金 天おん大まやう
 廿 土 天おん大まやう
 十九 火 天おん大まやう
 十八 土 天おん大まやう
 十七 金 天おん大まやう
 十六 土 天おん大まやう
 十五 火 天おん大まやう
 十四 土 天おん大まやう
 十三 金 天おん大まやう
 十二 土 天おん大まやう
 十一 火 天おん大まやう
 十 土 天おん大まやう
 九 金 天おん大まやう
 八 土 天おん大まやう
 七 火 天おん大まやう
 六 土 天おん大まやう
 五 金 天おん大まやう
 四 土 天おん大まやう
 三 火 天おん大まやう
 二 土 天おん大まやう
 一 金 天おん大まやう

十月小 建戌子 鬼宿 翼火

小雪十月廿三日の出も日金也

廿九	火	のい	く多日
廿八	土	のい	く多日
廿七	金	のう	大まやう天おん
廿六	土	のう	大まやう天おん
廿五	金	のう	天おん大まやう
廿四	土	のう	天おん大まやう
廿三	火	のう	天おん大まやう
廿二	土	のう	天おん大まやう
廿一	金	のう	天おん大まやう
廿	土	のう	天おん大まやう
十九	火	のう	天おん大まやう
十八	土	のう	天おん大まやう
十七	金	のう	天おん大まやう
十六	土	のう	天おん大まやう
十五	火	のう	天おん大まやう
十四	土	のう	天おん大まやう
十三	金	のう	天おん大まやう
十二	土	のう	天おん大まやう
十一	火	のう	天おん大まやう
十	土	のう	天おん大まやう
九	金	のう	天おん大まやう
八	土	のう	天おん大まやう
七	火	のう	天おん大まやう
六	土	のう	天おん大まやう
五	金	のう	天おん大まやう
四	土	のう	天おん大まやう
三	火	のう	天おん大まやう
二	土	のう	天おん大まやう
一	金	のう	天おん大まやう

十一	ひびく	あまの日月とく
十	のい	あハセのあたりちう日あく日
九	ぬ	天いあつちの
八	ぬ	天あつちの井あつちの
七	ぬ	天あつちの
六	ぬ	天あつちの
五	ぬ	天あつちの
四	ぬ	天あつちの
三	ぬ	天あつちの
二	ぬ	天あつちの
一	ぬ	天あつちの

大雪十月せうの七刻六日の出より見えて燈四十一刻半六も空を 燈四十六刻

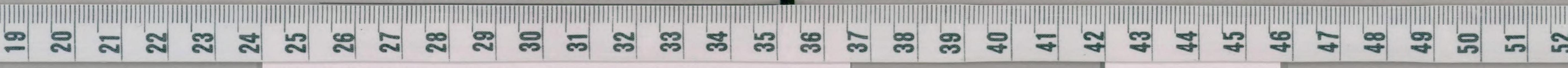
冬至土月中むの四刻日の出より見えて燈四十一刻半六も空を 燈四十五刻半

十二月大 建己丑 柳宿 軫水よう

六	ひびく	あまの日月とく
五	ぬ	天あつちの
四	ぬ	天あつちの
三	ぬ	天あつちの
二	ぬ	天あつちの
一	ぬ	天あつちの

小寒土月せうの二刻六日の出より見えて燈四十一刻半六も空を 燈四十六刻

大寒土月中の六刻日の出より見えて燈四十一刻半六も空を 燈四十六刻



文化六年出 立表測景定節氣者



国立国会図書館 タイトル『江戸暦』 請求記号 寄別13-59

ガラス使用